

「外国人市民とともにまちづくり」 人権のひろば～人権・同和教育シリーズ～



【災害時の外国人市民との「共助」】

東日本大震災では、多くの外国人住民も被災されました。避難所では、言葉が分からず必要な情報が手に入らなかったり、地域の住民との関係が築けていなかったりしたために、共に助け合う「共助」ができず、不安な時間を過ごした人も数多くいました。

【「共助」を推進するために】

本市では、外国人と日本人が共に「共助」の大切さの理解を深めてもらうために「外国人市民向け防災セミナー」を開催しています。このセミナーでは、住民同士が身近なものを

使った止血法や骨折の固定方法、簡易担架作りなどを体験学習した後に、意見交換を行っています。

セミナーに参加した外国人市民からは、「もっと外国人市民に参加してもらうために友だちへ伝えたい。」との感想がありました。

住民同士の「共助」を推進するには、「顔の見える関係」を築くことが大切です。そのため、外国人市民を含めた住民の交流や、地域活動への参画を図っていくことが求められています。

一人ひとりが自ら何ができるのかを考え、行動に移し、言葉や文化、

国籍の違いをこえ、共生する社会を目指しましょう。



フィリピン人コミュニティの集まりで
応急手当ての実演

■問い合わせ先
文化国際課 多文化共生推進室
(☎354-8114 FAX354-4873)

表紙こぼれ話

今月は、「ふれあい牧場と茶畑」の雪景色です。

ふれあい牧場は、水沢地区にある牧場です。畜産農家から預けられた子牛を育てています。

ミニチュアホースやヤギなどとも触れ合うことができ、事前予約をすれば、乳搾り体験やバター作り教室を楽しむことができます。

また、4月～11月の期間中には、新鮮な牛乳やヨーグルト、アイスクリームなどを販売する売店も開いています。



今年度の表紙のテーマは、「四日市の心に残る風景」です。四季折々に見ることができる四日市の美しい風景をご紹介します。

■おまけショット



鈴鹿山脈の麓に位置する水沢地区の茶畑。収穫前の一定期間は、「かぶせ茶」として、黒いネットに覆われた様子を見ることができ、雪の日には、美しい雪景色を見ることができ。

■問い合わせ先
広報広聴課
(☎354-8244 FAX354-3974)

下のQRコードを読み取って、四日市市オリジナルアプリ「まるごと四日市」のサイトにアクセスしてね！
今回は、四日市観光案内所「お休み処 四十三茶屋」を紹介するよ！



「まるごと四日市」のサイト

四日市市のゆるキャラ
「こにゅうどうくん」

※「まるごと四日市」のサイトの広報紙のメニューを起動して、この「こにゅうどうくん」のイラストにスマートフォンなどをかざせば動画が見られます

有料広告掲載欄 お引越しをされる方へ お早めにご連絡ください！！

引越し先でもCTYは使えるの？

引越し先でインターネットを使いたい！

CTYならテレビ・NET ケーブルプラス電話がまとめて使えるから 手続きも楽々！



☎0120-30-6500

【受付】月～土（日・祝日除く）
（窓口）9:30～17:30（電話）9:00～19:00 まずはお問い合わせください。

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 313,136人 [12月末日現在(前年比-761)] ■火災件数 6件 [12月分(前年比-12)] ■交通事故件数 1,045件 [12月分]